

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年8月8日

【評価実施概要】

事業所番号	2870801285		
法人名	医療法人 浩生会		
事業所名	舞子台グループホーム		
所在地	神戸市垂水区舞子台7丁目3-6 (電話) 078-783-2225		
評価機関名	社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会		
所在地	神戸市中央区坂口通2-1-18		
訪問調査日	平成20年6月12日	評価確定日	平成20年8月8日

【情報提供票より】(平成20年5月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年5月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	22 人	常勤 18人 非常勤 4人 常勤換算 20.2人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3 階建ての	2 ~ 3	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円
敷金	有(250,000 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	150 円	昼食 450 円
	夕食	450 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,150 円		

(4) 利用者の概要(5月14日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名
要介護3	4 名	要介護4	3 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86.6 歳	最低 70 歳	最高 100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	舞子台病院・田口歯科医院
---------	--------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR舞子駅から北へ徒歩で15分程度の眼下に明石海峡大橋、淡路島を見渡すことのできる高台の一角にある。舞子台病院グループに属していることから、多様な医療・福祉機能の活用が期待でき、グループホームのある建物の1階では、認知症対応型通所介護を実施しており、グループホーム利用者との交流もある。また、訪問看護ステーションとの契約に基づく看護師による24時間連絡体制を確保するなど多機能性を活かした支援を実施している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	前回評価での課題でもあった地域交流の拡大及び広報の強化については、地域住民による見学会の実施、機関紙の発行などにより改善が図られている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)
	自己評価の実施過程において管理者主導の傾向が見受けられ、今後は全職員の参加の下で、評価の意義を理解しながら取り組まれることを期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
	運営推進会議は、行事予定及び行事の実施状況等運営事項の報告を中心に開催しているが、家族会メンバーの参加が地域住民に比して多いということもあるのか、議題も内部の運営事項が中心になっている。運営推進会議がサービス実践に活かされるよう、議題設定の工夫が望まれる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	家族との話し合いを通して、受診時の付添いや訪問看護ステーションとの連携のあり方等の意見を吸い上げることに努めている。利用者の健康状態や生活の様子については訪問時等に報告はしているが、写真等を添えた家族向けの個別の便りなど定期的に情報提供を行えるよう期待したい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
	近隣住民による見学会の実施、近隣小学校の生徒によるよさこい踊りの披露など地域との交流には可能な限り努めている。今後はさらに工夫を重ねながら、取り組みを拡げていくことを期待したい。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	現在の理念の内容は利用者の支援のあり方が中心になっており、地域との連携を重視した理念にはなっていない。		従来の理念を踏まえながらも、地域密着型サービスとしてのグループホームの役割を考えた新たな理念の検討が望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	フロア責任者など開設時から働いている職員は、理念の共有がなされている。新規採用職員等には、会議等で理念を配布、説明するなど、理念の意味を周知するよう努めている。		新たな理念の検討は今後の課題であるが、全職員の参加による検討を行い、職員皆が理念を共有し、実践につなげられるような取り組みを期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣住民によるグループホーム見学会の実施、近隣小学校生徒によるよさこい踊りの披露など、地元の人々との交流には可能な限り努めている。		立地条件、職員数など地域との交流を深めるうえで、困難な要因はあるものの、地域の老人会が近隣の公園で開催している喫茶コーナーに参加する計画があるなど、さらに工夫を重ねながら地域との交流を拡げていくことが望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価については管理者主導の傾向が見受けられるが、昨年の第三者評価の結果を踏まえて、グループホーム見学会の実施や機関紙の発行などの改善に取り組んでいる。		今後は、全職員の参加の下で、評価の意義を理解しながら、改善に取り組まれることを期待したい。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヵ月に1回開催しているが、行事予定・行事の実施状況等運営事項の報告が中心になっている。</p>		<p>運営推進会議の意義を再確認し、運営推進会議がサービス実践に活かされるよう、第三者評価の内容を議題に取りあげるなど、議題設定の工夫が望まれる。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>あんしんすこやかセンターと協力し、認知症の理解のためにホームの見学会をしているが、日常的な市との連携は今のところない。</p>		<p>今後は、市に対して機関紙の送付やホーム情報の提供を行うなど、連携に向けた積極的な働きかけが望まれる。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族が訪問時や受診の付添いでホームを訪れた時に、健康状態・生活の様子や金銭管理状況などを報告している。また、今年新たに発行した機関紙を通して、理念や行事等の周知も行っている。</p>		<p>行事や生活の様子について個々の利用者家族あてに状況報告を行っているが、今後は継続的に状況報告を行うことが望まれる。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会が運営推進会議と一体となった形で2ヵ月に1回開催しており、受診時の付き添いや訪問看護ステーションとの連携のあり方等について、積極的な意見交換が行われている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動による新規採用職員は介護経験のある者が多いものの、フロア責任者が重点的に指導し、利用者のケアに支障がないよう努めている。</p>		<p>職員の異動は、利用者及び家族に不安を与えることにつながるため、その原因を把握し、職員の定着対策と併せて、利用者のダメージを防ぐ配慮をしていくことが望まれる。</p>


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症介護に関する研修などの外部研修には、指導的立場にある職員が比較的多く参加しているが、一般職員の参加の機会が少ない。</p>		<p>指導的立場にある職員だけではなく、一般職員にも外部研修に参加できる機会を可能な限り提供するとともに、ホーム内においても相互研鑽の場を積極的に設けていくことが望まれる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市が主催する地域密着型サービス集団指導参加時に同業者と交流しているが、それ以外の交流は行われていない。</p>		<p>同業者との交流の意義を理解し、ホーム職員と他のグループホーム職員との情報交換等の交流に向けた機会づくりが望まれる。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居にあたって本人との面接時に、他の利用者と一緒に過ごしてもらつ時間を設けるなど、入居に備えてホームに馴染めるよう配慮している。また、入居待ちの利用予定者にも定期的に様子を伺うなど、スムーズな入居につながるよう支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>昔の言葉の意味を教えてもらいながら出身地の話を聞いたり、居室で職員と一緒に習字のけいこをしたりと、共に過ごす時間をできるだけ持つように心がけている。また、職員は利用者の「ありがとう」の言葉から元気をもらっている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>窓越しに外を眺め続けている利用者の姿から帰宅願望や外に出たい希望を汲み取り、外に誘うなどして対応している。</p> <p>入浴、買物等マンツーマンでの介助の時に利用者の意向や希望を把握するよう努めている。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は多数の職員の参加のもと、家族や利用者の意向を取り入れながら作成している。また、作成後の目標に対する支援経過もケアカンファレンスで随時検討している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>家族や利用者の意向を聞きながら、職員によるケアカンファレンスでの検討を経て、3ヵ月に1回見直しを行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>グループホームがある建物の1階は、認知症対応型通所介護事業を実施しており、両者合同の行事を実施するなどの連携がある。また、訪問看護ステーションとの契約により、看護師による24時間連絡体制を確保するなど利用者の健康管理にも万全を期している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前よりかかりつけ医のいる利用者以外は、協力病院である舞子台病院に定期的に受診している。なお、通院は家族の付き添いを原則としているが、緊急時は職員が対応している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>「重度化対応・終末期ケア対応指針」を定めており、契約時に家族に説明し、同意を得ている。</p>		<p>「重度化対応・終末期ケア対応指針」を定めているが、実際の対応について家族と継続的に話し合うことが望まれる。また、重度化や終末期の際の対応方法について職員研修を実施していくことが望まれる。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者一人ひとりへの言葉かけは親近感の中にも尊敬の念を込めて対応するよう努めている。</p> <p>個人情報の取り扱いは、同意書を取るとともに、職員に対して守秘義務の徹底を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事時間や入浴時間の目安は設けているが特に決まりはない。</p> <p>日中は散歩、輪投げ、カルタ、トランプなど簡単なレクリエーションを一人ひとりのペースで楽しんでもらえるよう支援している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
	22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
	23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
	24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
	25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
	26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>今後、身守り方法の検討を行い、鍵をかけないケアの工夫・改善が望まれる。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害避難訓練は年2回実施しており、夜間を想定した訓練や機器の操作訓練も含まれている。緊急時の連絡体制も定めており、訓練手順及び防災マニュアルも整備している。</p>		<p>緊急時には、同一法人内での応援体制はもとより、地域住民の協力も得られるよう運営推進会議等での働きかけが望まれる。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は、同一法人内の有料老人ホームの管理栄養士が作成しているため、栄養バランスについての問題はない。食事及び水分の摂取量についても毎日記録し、必要量をチェックしている。また、個々人の状態に沿ったきざみ食、ミキサー食なども実施している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関に置かれた陶器の火鉢の中には金魚が泳いでいたり、また季節の花が活けられたりと心が癒される空間づくりに配慮している。居間、食堂、台所が一体となった共用空間はゆったりとしたスペースとなっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の入口には、温かみを感じさせる木工細工の表札が架けられている。またベッド、筆筒などの調度品は使い慣れた思い思いの品を持ち込んでいる。その家具の上に思い出の家族の写真を飾るなど居心地の良い雰囲気醸し出している。</p>		

 は、重点項目。